

いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

今年の梅雨時期の特徴は、 ムシッと暑く！大雨の日が多くなる！と予想あり！？

いもち病の早期発見・早期防除を！！

東海地方の梅雨入りは6月10日ごろとなりました。
イネの病害になる《いもち病》の感染好適条件が揃いやすい時期になります。
情報を取り入れて早期発見！早期防除を行いましょ！

三重県病害虫防除所

●いもち病発生予想支援システム(ブラスタム)では、
気象庁のアメダスのデータを利用して
いもち病の発生時期を地域ごとに予測しています。

いもち病菌の感染好適条件

- ☆平均気温15℃～25℃
- ☆湿潤時間10時間以上
- ☆当日を含めて前5日間の平均気温が20℃～25℃

令和2年	桑名	四日市	亀山	上野	津	小俣	粥見	鳥羽	南伊勢	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮
6/01	●	●	◎	-	-	◎	◎	◎	◎	◎	●	●	●
6/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/05	《●印が付いたら、注意！》												
6/06	いもち病の感染好適条件が揃うと、●印が付きます												
6/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/10	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-	-
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

三重県病害虫防除所 ブラスタム



詳しくはこちらから閲覧できます。
<https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39584007416.htm>

●葉いもち病は、降雨などによって水稻の葉が一定時間濡れた時に、感染・発病します。
いもち病菌の感染に好適な気象条件になった日から7日～10日後に葉いもち病の病斑が現れます。



- ☆葉いもち病が初発段階では、予防的に粒剤が効果的です。(コラトップ粒剤)
 - ☆発生が目立つ場合には、治療効果の高い液剤・粉剤を散布してください。(ブラシン・ダブルカットなど)
- 《注意》
- ・前年に、いもち病が発生した圃場には、菌の付着した糶やワラが伝染源になり発生しやすい。
 - ・圃場にある補植用の置き苗も伝染源になるので、速やかに除去してください。

【発生2～3日後の病斑】



やっぱりコレ！
予防が一番安心！

田植え時に殺菌剤が入った箱施用剤を使用すれば、今の時期のいもち病の心配はいりません。
田植え時からしっかりと予防することが大切です。